

商店街オープン再び！

今年で3回目。商店街オープンがはじまりました。今回は、名古屋市名東区にある西山商店街と中村区にある大門商店街。特徴のある2つの商店街の中の1店舗のオープンを目指しています。

☆商店街オープンとは？

名古屋市の事業で、名古屋市内にある商店街の中の空き店舗が舞台となります。参加者を募り、みんなでワークショップをしながら進めます。アイデア・ステージではこんなお店がいいなとワクワクするお店を考えます。(弊社はワクワクをファシリテートします)

次のスタディ・ステージでは、シビアにイニシャルコストが回収できる、稼げるビジネスモデルを考えていきます。その間に出店希望者を募ります。

そのまちにふさわしく、そして稼げる、魅力的なお店の誕生を目指します。

☆新しい店の影響

第1期の店舗をみると、その店舗を核にして徐々に新しく、しかも、おしゃれに変な店舗ができています。それも、空き店舗を改装しているので、隙間が埋まっていくようです。はじめにできる店舗のイメージが影響しているのではと思います。新しいお店ができるということのパワーを感じています。



☆ワークショップはアイデアの宝庫

このワークショップで出てくるアイデアは、画期的でワクワクするものがたくさんあります。事業に行き詰ったとき、新しいイベントや企画を始めるときには、これらのアイデアからピックアップ&アレンジして実施できそうです。活用していきたい、他の店舗ではあり得ない、うれしいものがたくさん詰まった「本当に使える！ワークショップ」です。

*コロナ禍で、地元の価値を見直したという声が増えてくるようになりました。家の周辺で散歩したり、買い物をしたり。散歩しながら、新しいお店やお気に入りを見つける、地元ライフを充実させる楽しさに気づく人が増えているということなのでは？これからはもっと、地域に気持ちが向いていきそうな予感。そんなときのためにも、商店街に風が吹いていることが大切なんです。